

KANEFUSA

# 2018年3月期決算 および中期経営計画の現況 (2017年度～2019年度)

2018年 6月 6日

## 兼房株式会社

---

ホームページ URL <http://www.kanefusa.co.jp>  
お問い合わせ先 執行役員 経営管理部長 佐築賢治  
電話番号 0587-95-2821

---

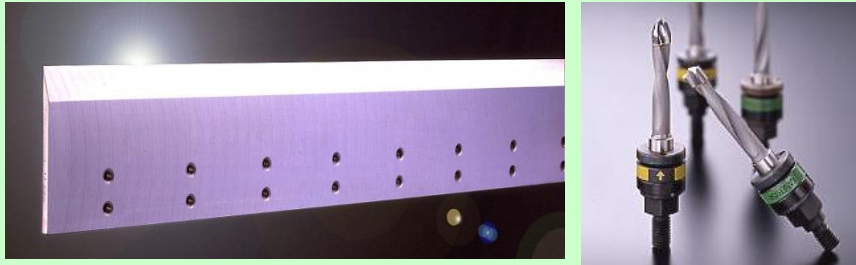
## 【説明内容】

### ・ 会社の概要

- ・ 2018年3月期決算概要
- ・ 中期経営計画の現況（2017年度～19年度）
- ・ トピックス

# 会社の概要

## 工業用機械刃物総合メーカー



■ 設立 1948年11月  
《創業1896年（明治29年）》

■ 所在地 愛知県丹羽郡大口町

■ 資本金 21億4,250万円  
(1995年4月名証二部上場)  
(2006年3月東証二部上場)

		単 独	連結子会社
■ 従業員数	正社員	556名	581名
	パート	152名	107名
	合 計	708名	688名

■ 事業所 本社・工場 国内8販売拠点

■ 子会社 9社 うち海外子会社8社

# 沿 革

1896年	名古屋市中川区に鍛冶業を創業
1937年	名古屋市熱田区に兼房刃物工業有限会社設立
1947年	東京出張所を開設
1948年	兼房刃物工業株式会社に改組
1949年	大阪出張所を開設
1959年	日本の機械刃物メーカーで初めて高周波熱処理装置を完成
1964年	大口工場第一期工事完成
1968年	兼房刃物販売株式会社を設立
1972年	大口工場にチップソー工場建設
1982年	大口工場にコールドソー工場建設
1985年	本社機構を大口工場に移管
1986年	ダイヤモンド刃物、カッターブロックの高精度製品の専門工場を建設
1990年	工業、販売を合併。社名を兼房株式会社に変更
1995年	名古屋証券取引所第二部へ上場
1996年	テクニカルセンターを新設
1999年	ISO9001認証取得
2003年	ISO14001認証取得
2006年	東京証券取引所第二部へ上場
2008年	名古屋支社を名古屋市中熱田区内で新築移転、中部支社へ改称
2009年	東京支社と前橋出張所を統合し、さいたま市へ新築移転、関東支社へ改称
2012年	徳島出張所を香川県高松市に移転、高松営業所へ改称
2015年	大口工場に第3精密工場建設

## 海外進出の沿革

1986年	インドネシアに「PT.カネフサインドネシア」設立
1996年	PT.カネフサインドネシア新工場建設
1999年	アメリカに販売子会社「カネフサUSA,INC.」設立
2001年	オランダに販売子会社「カネフサヨーロッパB.V.」設立
2002年	中国に生産子会社「昆山兼房高科技刀具有限公司」設立
2009年	インドに販売子会社「カネフサインディアPvt.Ltd.」設立
2010年	ブラジルに販売子会社「カネフサドブラジルLTDA.」設立
2012年	中国に「天津分公司」設立
	カネフサUSA,INC新社屋設立、移転
2013年	中国に「佛山分公司」設立
	メキシコに販売子会社「カネフサメキシコス.A. DE C.V.」設立
2015年	PT.カネフサインドネシア第2工場建設
	アメリカに「アトランタオフィス」設立
	ロシアに「モスクワオフィス」設立
2016年	ベトナムに販売子会社「カネフサベトナムCo., LTD.」設立
2018年	ベトナムに生産子会社「カネフサベトナム マニュファクチャリングCo., LTD.」設立予定

# 海外子会社



**カネフサヨーロッパ B.V.**  
＜販売＞  
設 立：2001年4月  
従業員数：14名



**昆山兼房高科技刀具有限公司**  
＜生産＞＜販売＞  
設 立：2002年9月  
従業員数：212名



**カネフサUSA,INC.**  
＜販売＞  
設 立：1999年5月  
従業員数：13名



**カネフサメキシコS.A. DE C.V.**  
＜販売＞  
設 立：2013年12月  
従業員数：7名



**カネフサインド Pвт.Ltd.**  
＜販売＞  
設 立：2009年8月  
従業員数：11名

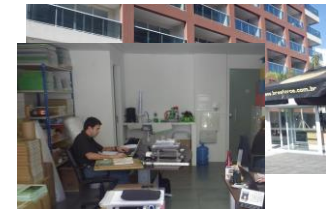


**PT.カネフサインドネシア**  
＜生産＞＜販売＞  
設 立：1986年7月  
従業員数：417名



**カネフサベトナム Co., LTD.**  
＜販売＞  
設 立：2016年4月  
従業員数：6名

**カネフサベトナム  
マニファクチャリング  
Co., LTD.**  
＜生産＞  
設 立：2018年6月予定



**カネフサ ブラジルLTDA.**  
＜販売＞  
設 立：2010年1月  
従業員数：12名

# 事業内容

## 工業用機械刃物の製造・販売

工業用機械刃物は、木材・紙・金属等を切断・加工する機械に装着して使用される  
〈消耗工具〉に該当します。

## 主要ユーザー

- ・住宅関連産業（ハウス、合板、建材、プレカット、外壁材、電動工具、キッチン、家具等の各メーカー）
  - ・金属関連産業（鉄鋼、非鉄、自動車・部品等の各メーカー）
  - ・製紙・製本紙工関連産業（製紙等の各メーカー、印刷・製本会社）
  - ・IT関連産業（電子部品等の各メーカー）
- その他、環境関連、包装機械、合成樹脂加工会社など多業種にわたる。

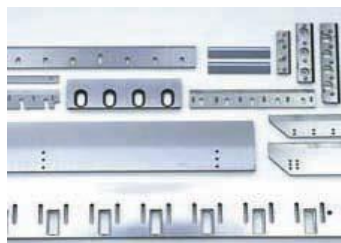




# 主要製品

## 平刃類

形状が平らになっているもので、合板用刃物、電動工具の電気鉋刃、製本紙工用刃物、IT関連刃物等があります。



## 精密刃具類

溝つき・繋ぎ合わせ・穴あけ加工・成型等をする工具で、カッター・エンドミル・リーマなどと呼ばれます。被削材には木質系、窯業系建材、樹脂、非鉄金属等があります。



## 丸鋸類

円板状で外周部に刃がついており、切断・粉碎をする工具。被削材には木質系等を切断するチップソーや、各種金属を切断するコールドソーがあります。



## 製品一例



住宅関連産業向け  
ベニヤナイフ



印刷・製本関連向け  
断裁包丁



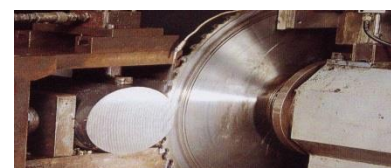
住宅関連産業向け  
仕口カッター



合成樹脂加工向け  
エンドミル



住宅関連産業向け  
チップソー



金属関連産業向け  
コールドソー

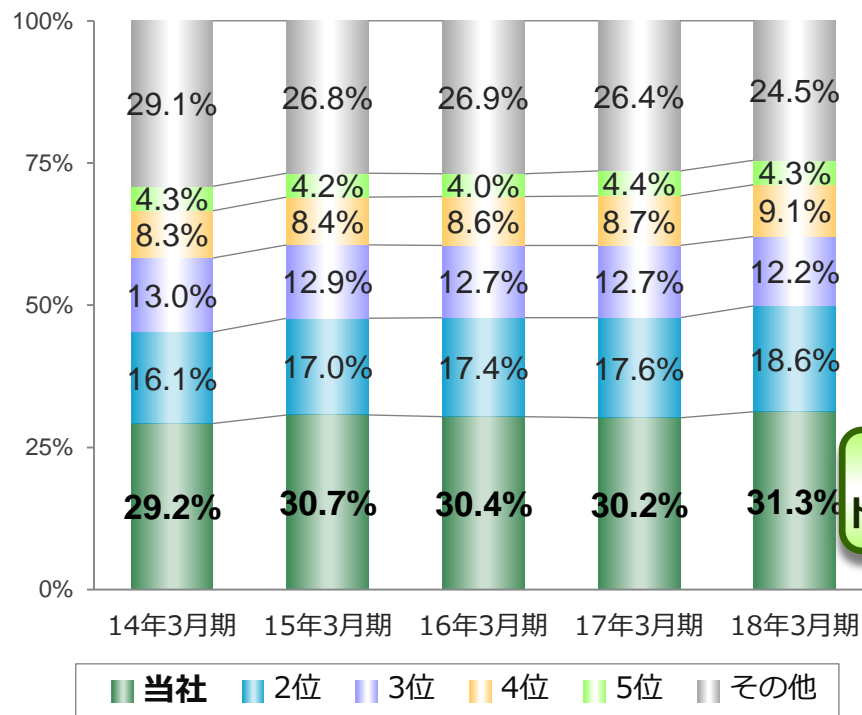
ユーザーニーズに合わせ、製品数は300種3万点

# マーケット規模と当社シェア

## 1. 日本機械鋸・刃物工業会（22社） 売上高ベースでのシェア

総売上高(輸出含む)

計500億円 計506億円 計497億円 計483億円 計519億円

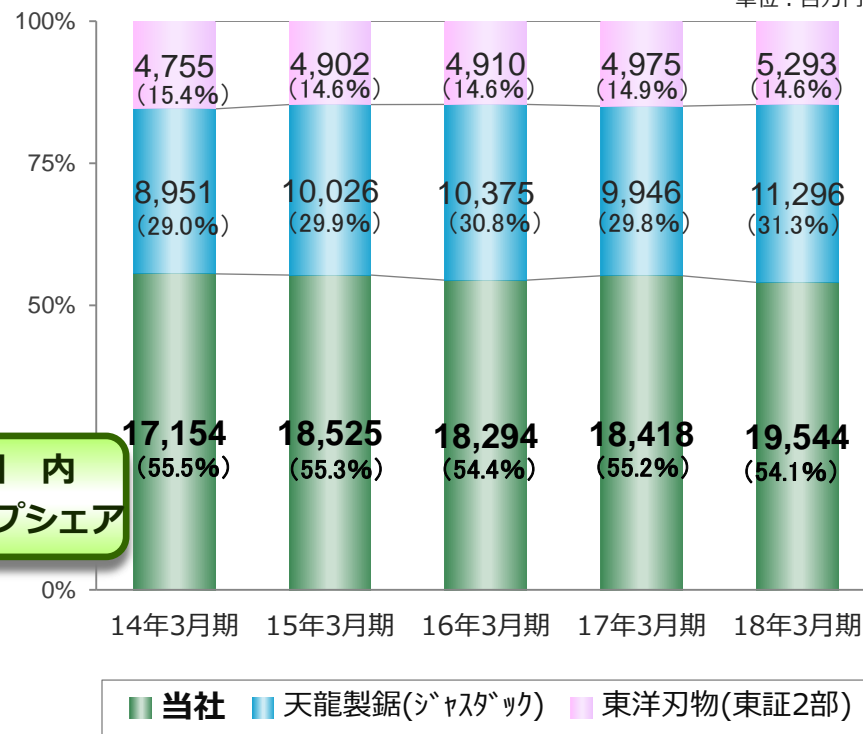


**国内  
トップシェア**

## 2. 業界株式公開会社3社の 連結売上高ベースでのシェア

計308億円 計334億円 計335億円 計333億円 計361億円

単位：百万円

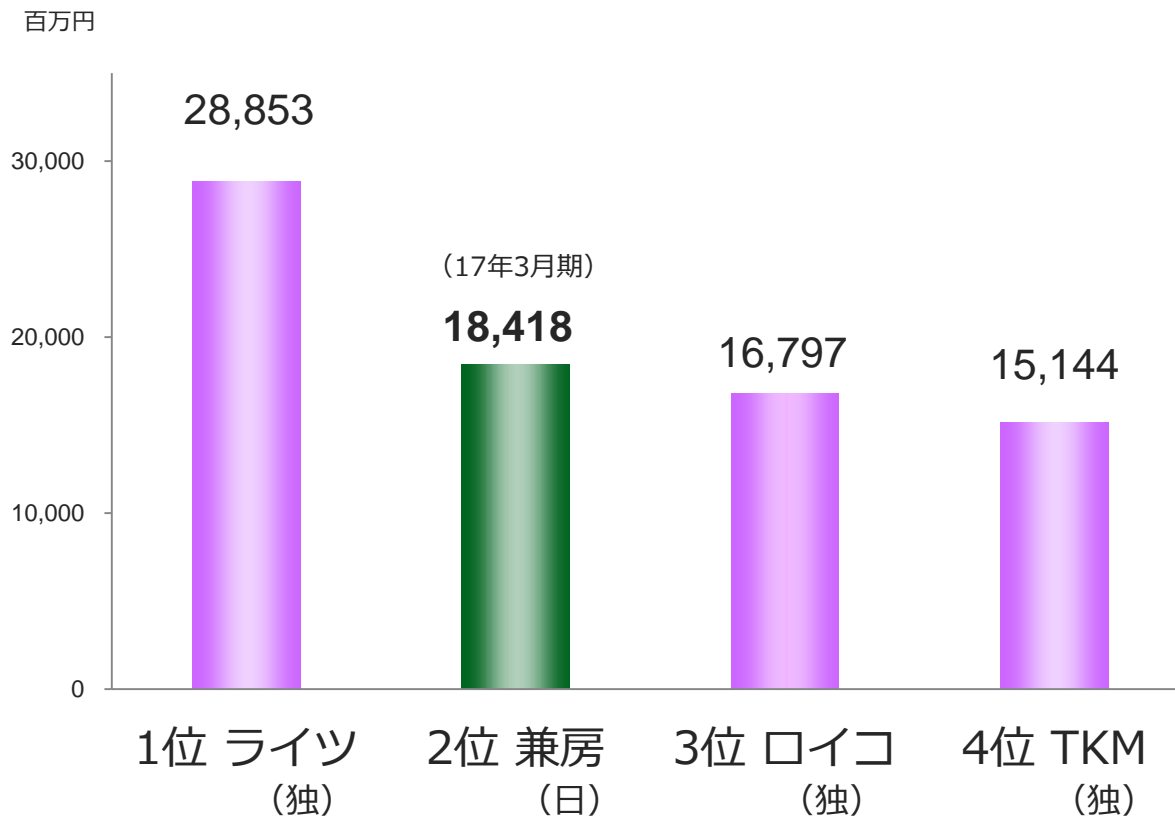


(加盟企業のみを集計でアウトサイダーの売上高を含まず)



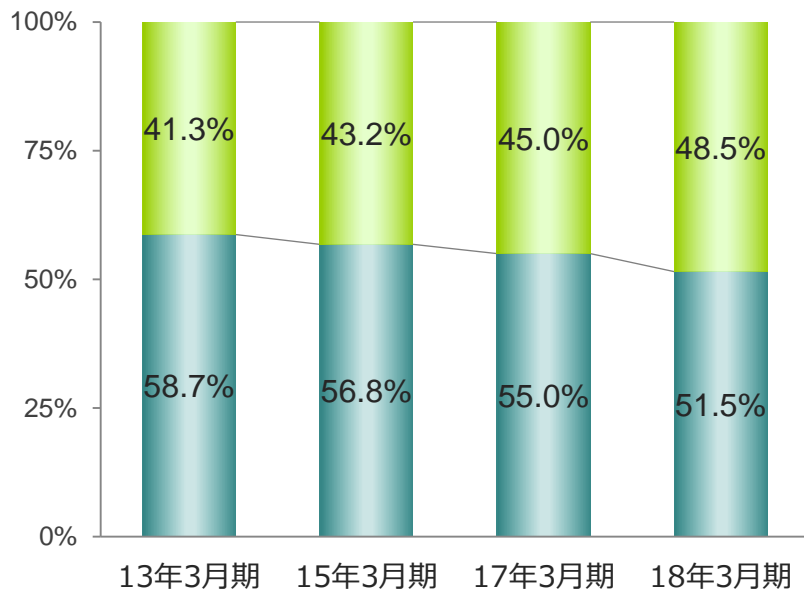
# マーケット規模と当社シェア

## 3. グローバルで見た当社の位置づけ 世界の機械刃物製造企業トップ4社 売上高比較（2016年度）



# 売上高構成比

## 業種別



■ 住宅関連

■ 非住宅関連

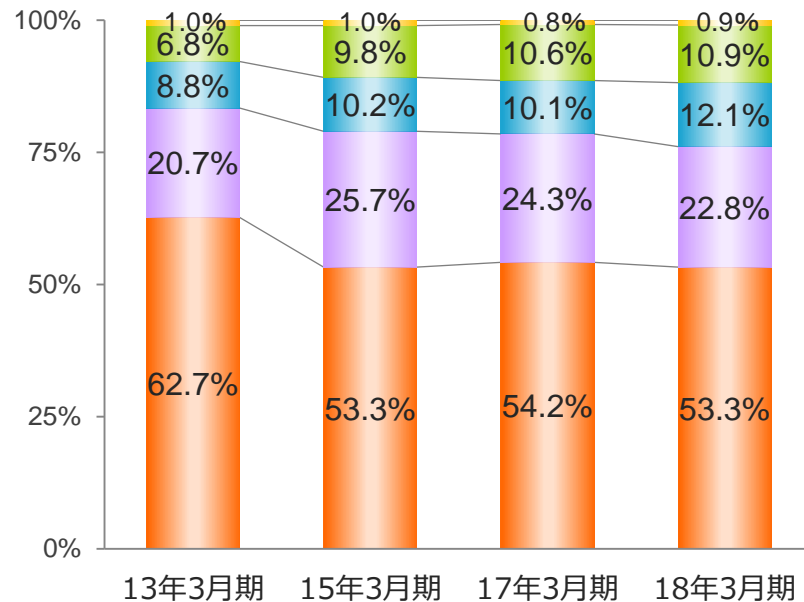
### ・住宅関連

ハウス、建材、サッシ、キッチン、家具、合板、電動工具メーカー等

### ・非住宅関連

鉄鋼、非鉄、自動車関連産業等、製紙メーカー、印刷・製本産業、化成系、IT、環境関連産業、包装機械メーカー等

## 地域別



■ 国内

■ アジア

■ ヨーロッパ

■ アメリカ

■ その他

### ・アジア

インドネシア、中国、韓国、マレーシア等

### ・ヨーロッパ

ドイツ、スウェーデン、ロシア、イギリス等

### ・アメリカ

米国、チリ、メキシコ、ブラジル、カナダ等

### ・その他

ニュージーランド、オーストラリア等

＜過去＞ 国内の住宅関連売上に依存

→ ＜現在＞ 一つの業種、地域に偏らない売上高構成を目指す

## 【説明内容】

- ・ 会社の概要
- ・ 2018年3月期決算概要
- ・ 中期経営計画の現況（2017年度～19年度）
- ・ トピックス

# 2018年3月期決算（連結）

## 1. 損益計算書

単位：百万円

	17年3月期 実績	18年3月期 実績	増減額	増減率	11月13日時点 18年3月期予想
売上高	18,418	<b>19,544</b>	1,126	6.1%	18,770
売上原価 (売上高比率)	12,492 (67.8%)	<b>12,973</b> (66.4%)	[1] 481	3.9%	12,510 (66.6%)
売上総利益 (売上高比率)	5,926 (32.2%)	<b>6,571</b> (33.6%)	645	10.9%	6,260 (33.4%)
販管費	4,460	<b>4,829</b>	[2] 368	8.3%	4,740
営業利益 (売上高比率)	1,465 (8.0%)	<b>1,742</b> (8.9%)	276	18.9%	1,520 (8.1%)
営業外収益	62	<b>68</b>	6	9.6%	110
営業外費用	183	<b>218</b>	[3] 34	19.0%	70
経常利益 (売上高比率)	1,344 (7.3%)	<b>1,592</b> (8.1%)	247	18.4%	1,560 (8.3%)
特別利益	2	<b>2</b>	▲0	▲10.2%	—
特別損失	11	<b>56</b>	45	395.9%	20
税金等調整前 当期純利益	1,335	<b>1,538</b>	202	15.1%	1,540
当期純利益 (売上高比率)	930 (5.1%)	<b>1,045</b> (5.4%)	115	12.4%	1,110 (5.9%)

国内・海外とも売上が増加。  
生産性向上による原価率改善もあり、

**前期比 増収増益**

### <増減額の主な内訳>

[1] 売上原価  
原価率 67.8%→66.4%  
1.4ポイント改善

[2] 販管費  
手数料 171  
人件費 102  
租税公課 23  
広告宣伝費 19

[3] 営業外費用  
為替差損 32

## 2. 貸借対照表

単位：百万円

		17年3月期	18年3月期	増減額
		実績	実績	
流動資産	現金及び預金	3,563	<b>4,898</b>	1,335
	受取手形及び売掛金	4,887	<b>5,270</b>	382
	たな卸資産	4,320	<b>4,115</b>	[1] ▲ 204
	その他	438	<b>864</b>	[2] 426
	小計	13,209	<b>15,149</b>	1,939
固定資産	有形固定資産	11,549	<b>11,217</b>	[3] ▲ 331
	無形固定資産	433	<b>461</b>	27
	投資その他の資産	1,136	<b>1,215</b>	78
	小計	13,119	<b>12,893</b>	▲ 225
	資産の部計	26,329	<b>28,042</b>	1,713

単位：百万円

		17年3月期	18年3月期	増減額
		実績	実績	
流動負債	支払手形及び買掛金	1,714	<b>2,144</b>	429
	未払金	759	<b>816</b>	56
	その他	935	<b>1,145</b>	[4] 210
	小計	3,409	<b>4,105</b>	696
	退職給付に係る負債	291	<b>340</b>	48
固定負債	その他	561	<b>600</b>	38
	小計	853	<b>940</b>	86
	資本金	2,142	<b>2,142</b>	—
	資本剰余金	2,167	<b>2,167</b>	—
	利益剰余金他	16,832	<b>17,588</b>	756
純資産の部	評価・換算差額等	922	<b>1,097</b>	174
	小計	22,065	<b>22,996</b>	930
	負債・純資産の部計	26,329	<b>28,042</b>	1,713

### <増減額の主な内訳>

- [1] たな卸資産  
仕掛品 79  
原材料及び貯蔵品 ▲234
- [2] 流動資産－その他  
仮払金 347
- [3] 有形固定資産  
建物及び構築物 ▲229  
機械装置及び運搬具 ▲383  
建設仮勘定 312
- [4] 流動負債－その他  
未払法人税等 277

### 3. キャッシュフロー

単位：百万円

	17年3月期 実績	18年3月期 実績
営業活動による キャッシュ・フロー	2,646	<b>2,872</b>
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 2,078	<b>▲ 1,297</b>
財務活動による キャッシュ・フロー	▲ 208	<b>▲ 279</b>
現金及び現金同等物 期末残高	3,556	<b>4,892</b>

#### <投資活動によるキャッシュ・フロー 主な内訳>

	2017年 3月期	2018年 3月期
有形固定資産取得支出	▲1,984	▲1,219
無形固定資産取得支出	▲ 44	▲ 77
関係会社出資金払込支出	▲ 41	-

### 4. 設備投資額・減価償却費等

単位：百万円

	16年3月期		17年3月期		18年3月期	
	連結	単体	連結	単体	連結	単体
設備投資額	3,003	2,075	1,254	1,070	<b>1,301</b>	<b>1,002</b>
減価償却費	1,410	890	1,614	1,096	<b>1,544</b>	<b>1,070</b>
研究開発費	260	226	258	245	<b>274</b>	<b>274</b>



## 【説明内容】

- ・ 会社の概要
- ・ 2018年3月期決算概要
- ・ 中期経営計画の現況 (2017年度～19年度)
- ・ トピックス

# 中期経営計画

## 1. 中期経営計画の位置づけ・中期ビジョン

前中期経営計画  
(2014~16年度)

“世界トップメーカー  
への飛躍と責務”

中期経営計画  
(2017~2019年度)

“世界ダントツ刃物メーカーへの躍進”

兼房グループ売上高200億円を目指し、  
品質・スピード・人財において、  
業界ダントツNo.1のレベルを確立する。

【中期ビジョン】

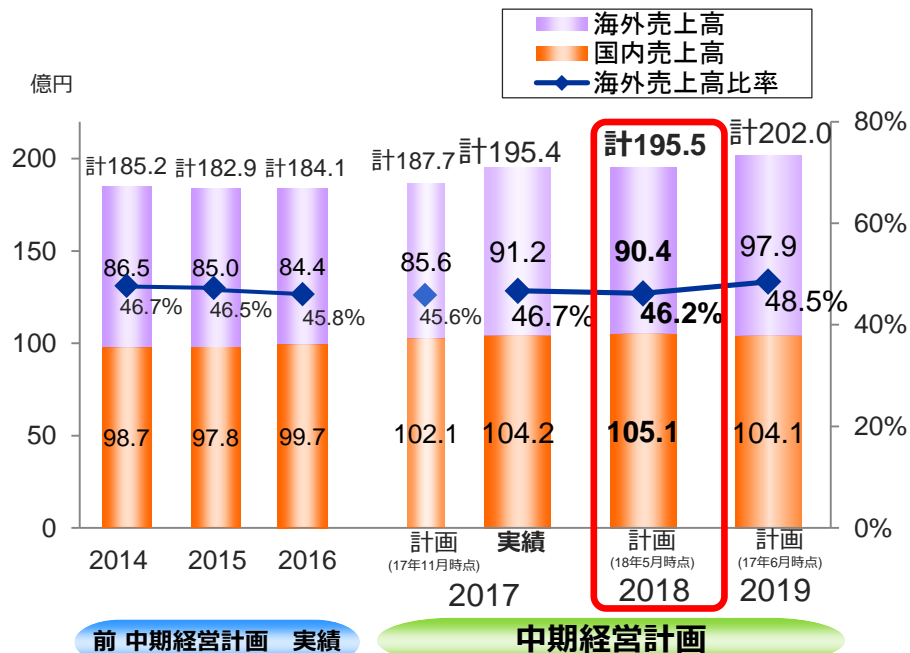
2019年度 連結

売上高	200億円以上
営業利益率	10%以上

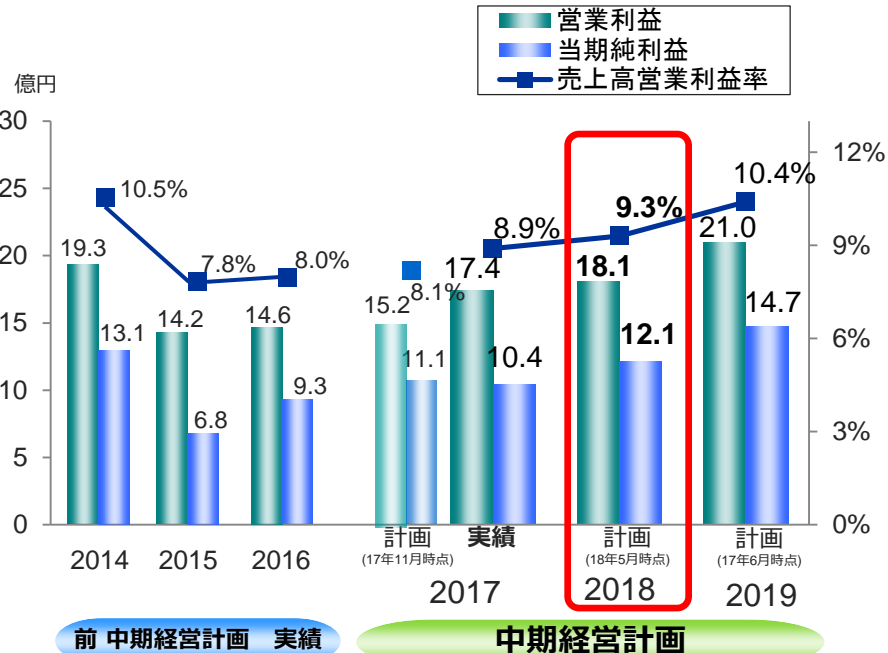
# 中期経営計画

## 2. 売上高・利益目標

### 売上高



### 営業利益・当期純利益



## 【説明内容】

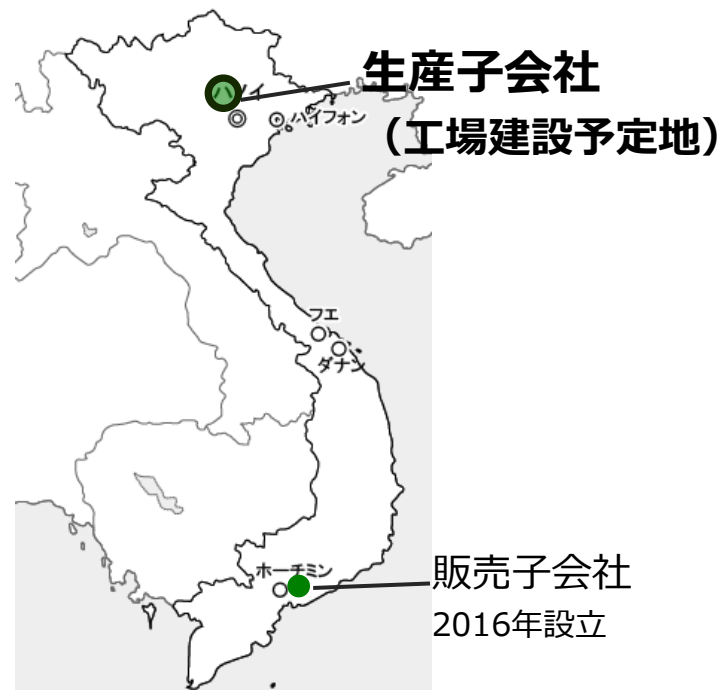
- ・ 会社の概要
- ・ 2018年3月期決算概要
- ・ 中期経営計画の現況（2017年度～19年度）
- ・ トピックス

## トピックス

# ベトナムに生産子会社設立予定

## 概要

- ▶ 商号 KANEFUSA VIETNAM MANUFACTURING CO., LTD.
- ▶ 設立予定日 2018年6月
- ▶ 操業予定日 2019年内
- ▶ 所在地 ベトナム ビンフック省  
(ハノイ郊外)



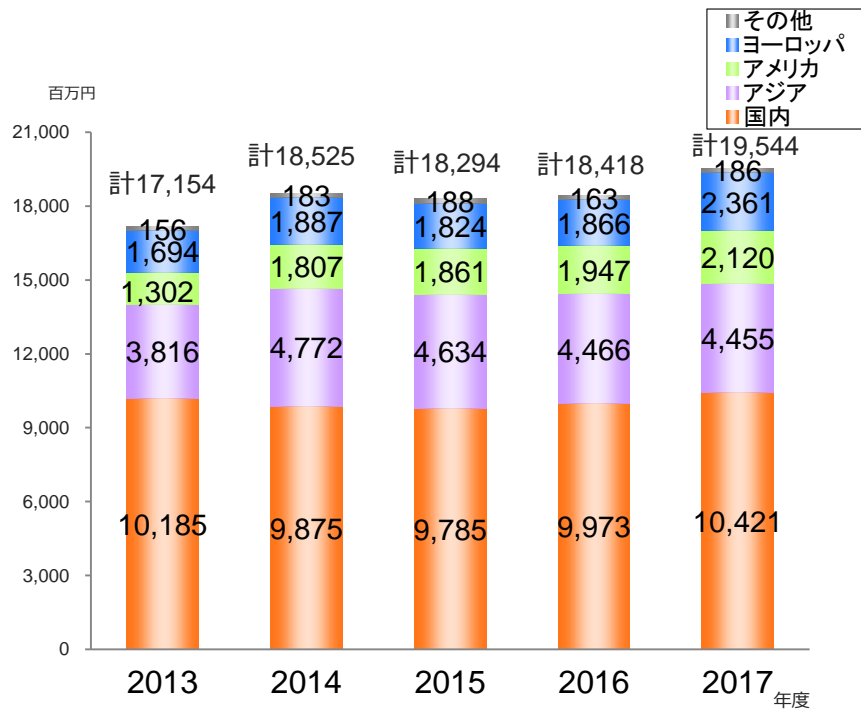
**ありがとうございました。**

当資料には、将来に関する記述があります。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく予測、計画等を基礎として作成しており、不確定要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの記述と異なる結果となる可能性があります。

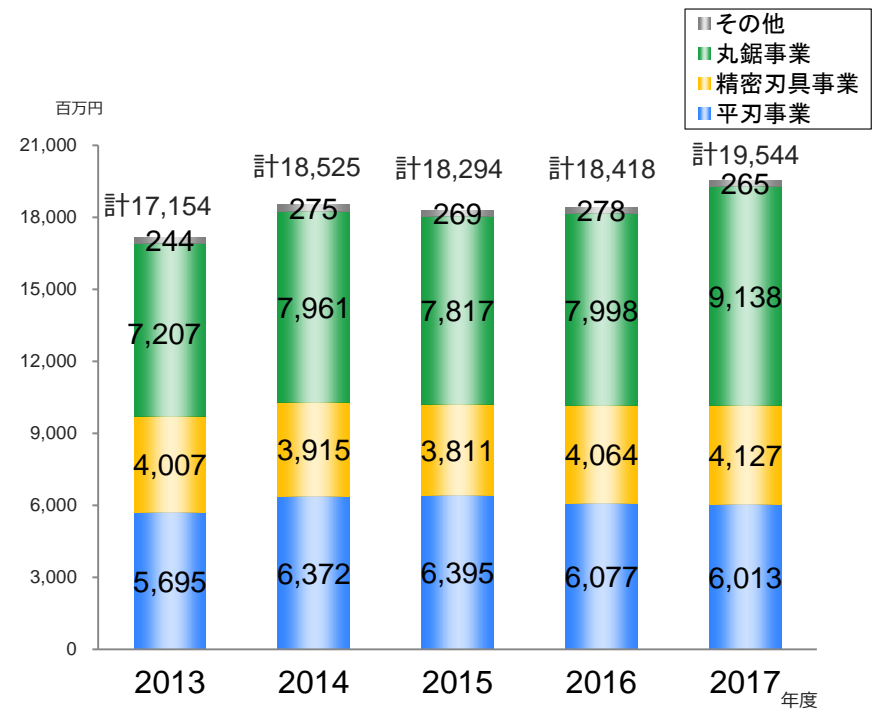


## 【ご参考】 連結5カ年推移

### 地域別売上高

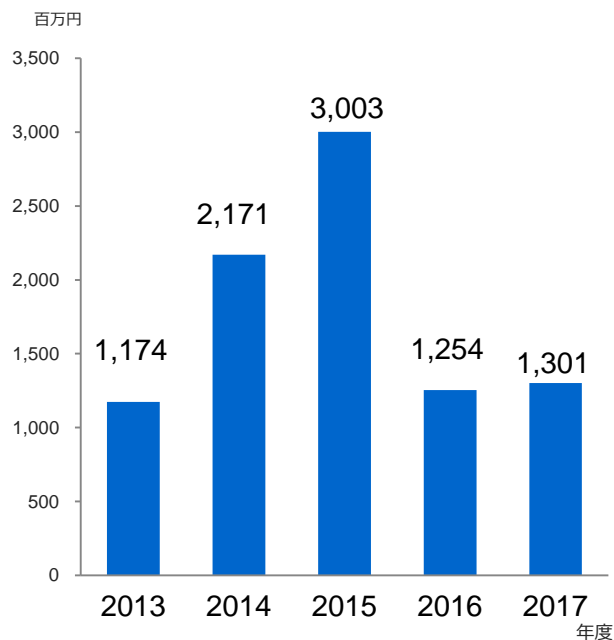


### 事業別売上高

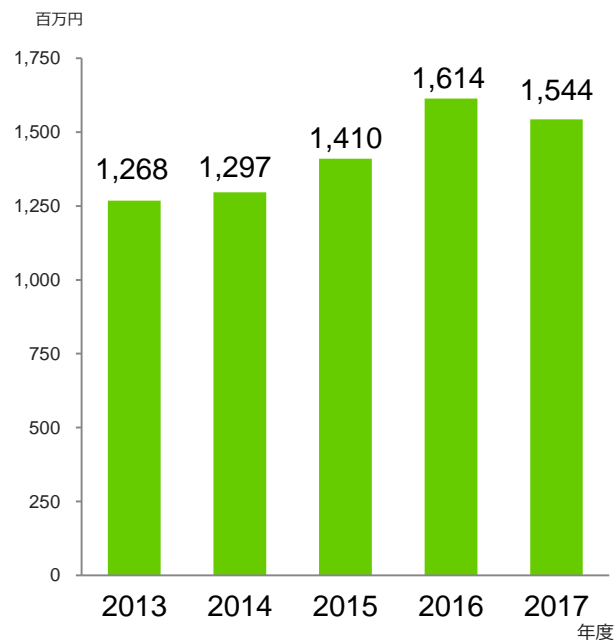


## 【ご参考】 連結5カ年推移

### 設備投資額



### 減価償却費



### 研究開発費

